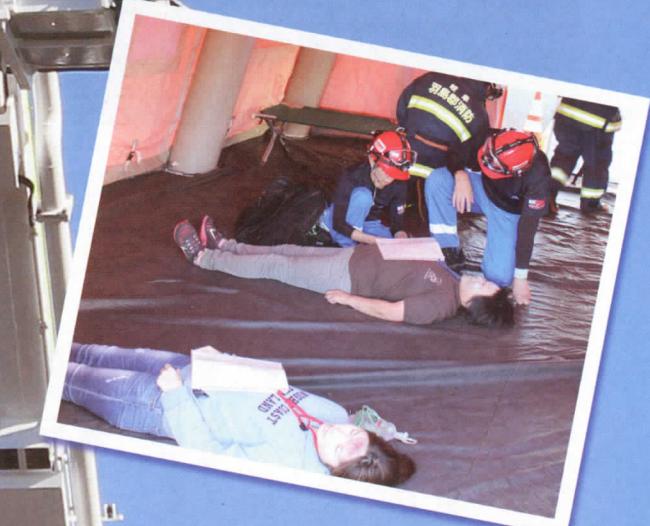


消防だより

羽島郡広域連合

No.34

多数傷病者発生訓練実施!!



多数傷病者発生訓練、 初の老人福祉施設で実施!!

平成30年11月6日、特別養護老人ホームリバーサイド笠松園で多数傷病者発生訓練を実施しました。

毎年実施している多数傷病者発生訓練ですが、今回は老人ホームでの建物火災が発生したという想定で行いました。自力避難が困難な方々が多数いる施設において、火災戦闘や避難はもちろんケガ人の救出や搬送、施設関係者との連携、病院選定をスムーズに活動できるかという課題に取り組みました。

訓練場所を提供していただいたリバーサイド笠松園の関係者の方々や松波総合病院、笠松町、岐南町の役場職員の協力のもと行われ、訓練の成果や反省等を活かして、今後の消防業務の向上につなげていきます。



救急ワークステーション病院研修及びドクターカー運用開始！

当消防本部では平成三十年十一月から、松波総合病院で救急救急ワークステーション病院研修及びドクターカー運用を実施しています。

【目的】

- 医師の同乗出場により 傷病者の救命率を向上
- 救急隊と医療機関との連携の強化
- 救急隊員の救急医療に関する知識及び技術の向上
- 救急搬送は通常、消防署で待機する救急車が、一一九番通報を受けて出動し、患者を乗せて病院に向かいります。その後、搬送先の病院で医師が必要な処置を施します。
- これに対しワークステーションは、救急車と救急隊員を病院で待機させ、救急出場体制を病院施設内で維持することにより、心肺停止、脳卒中、緊急度の高い外傷など、重症が疑われる事案には医師も救急車に同乗しきターカー運用をします。これにより早期医療介入が可能となり、現場から高度な医療が開始でき、更なる「救命率の向上」



と「後遺症の低減」が期待できます。

また、救急隊が普段から病院に滞在することで、病院スタッフとのコミュニケーションが密になり、円滑な連携がさらに促進します。救急現場では、医師から直接的に指示や助言を受けることで、救急隊がより効果的な救命処置を習得できるなど、知識や技術の向上が図れます。

今後とも消防機関は地域・医療機関と連携を図り救急医療体制の更なる充実強化を目指していきますので、何卒ご理解とご協力をお願いします。

救急搬送は通常、消防署で待機する救急車が、一一九番通報を受けて出動し、患者を乗せて病院に向かいります。その後、搬送先の病院で医師が必要な処置を施します。

これに対しワークステーションは、救急車と救急隊員を病院で待機させ、救急出場体制を病院施設内で維持することにより、心肺停止、脳卒中、緊急度の高い外傷など、重症が疑われる事案には医師も救急車に同乗しきターカー運用をします。これにより早期医療介入が可能となり、現場から高度な医療が開始でき、更なる「救命率の向上」

職場体験

救命講習

当消防本部では毎年インターンシップにおける職場体験で羽島郡内にある中学校・高等学校の生徒を受け入れています。今年度は西消防署では岐阜県立岐阜工業高等学校、笠松町立笠松中学校、岐南町立岐南中学校の生徒を計十四名、東消防署では岐南町立岐南中学校の生徒を五名受け入れました。

また、岐南町立岐南中学校からは、二名の女子生徒も参加しました。

限られた時間の中で、消防・救急・救助と普段では体験することのできない消防署での仕事を体験してもらいました。

みなさん一生懸命に取り組んでいただき、貴重な経験ができると思います。

そこで、今回職場体験で実施した内容を一部紹介します。

放水訓練

火災が発生すると隊員の身を守るために、防火衣と空気呼吸器を着装します。これは総重量約二十キロになります。

放水訓練をする時も実際に着装した状態で、放水の圧力を守るために、空気呼吸器を着装します。これは総重量約二十キロになります。



空気呼吸器を着装する様子

救助訓練

その中でも、救助工作車に積載してある車両救助などに使用するスプレッダー・ハイパワー・カッター、瓦礫救助などに使用するエンジンカッター・チエーンソーなどの破壊器具の取り扱い訓練を体験しました。



救助資機材取扱訓練の様子

救助訓練

高さが七メートルもある訓練棟を消防ロープを使用して自分で登ることや、降下をする訓練を行いました。

七メートルの高さを登ることは大変ですが諦めずに、限界まで挑戦しました。



下降訓練の様子

規律を正し、隊員の団結を強固にする必要があります。

そのため「気をつけ」や「休め」などの基本の姿勢を身につけました。

資機材取り扱い訓練

消防車両には災害時に使用する資機材が数多く積載してあります。

平成三十年中に羽島郡広域連合消防本部管内で発生した火災・救急・救助出場の概要是次のとおりです。

火災件数は、十件で前年と比べ三件の増加となりました。火災種別は、建物火災五件、車両火災一件、その他の火災四件となりました。また、火災による死者が一人、負傷者は〇人と、死者が発生する残念な結果となりました。

損害額は、一千九百三十一万円となり、前年に比べ一千九百十三万一千円と大きく増加しました。

出火原因別では、放火や電気配線関係による火災などがありましたが、

救急出場件数は、一千百五十三件で前年と比べ百四十四件の増加となり、羽島郡二町となってから過去最高件数となりました。

出動種別のトップは急病の千三百三十七件で、全体の六十二%を占めました。

救助出場件数は、三十四件で前年と比べ十一件の増加となりました。また、出動種別としては、交通事故によるものが多く見られました。

平成三十年中に羽島郡広域連合消防本部管内で発生した火災・救急・救助出場の概要是次のとおりです。

火災件数は、十件で前年と比べ三件の増加となりました。火災種別は、建物火災五件、車両火災一件、その他の火災四件となりました。また、火災による死者が一人、負傷者は〇人と、死者が発生する残念な結果となりました。

損害額は、一千九百三十一万円となり、前年に比べ一千九百十三万一千円と大きく増加しました。

出火原因別では、放火や電気配線関係による火災などがありましたが、

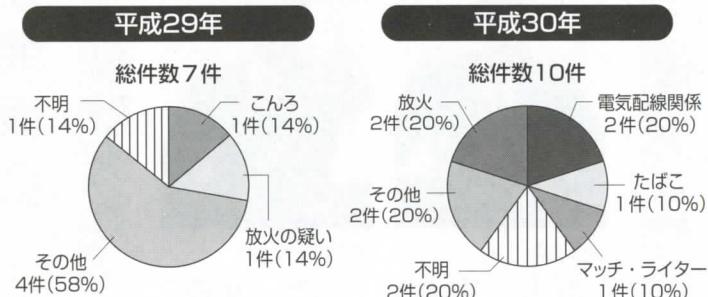
救急出場件数は、一千百五十三件で前年と比べ百四十四件の増加となり、羽島郡二町となってから過去最高件数となりました。

出動種別のトップは急病の千三百三十七件で、全体の六十二%を占めました。

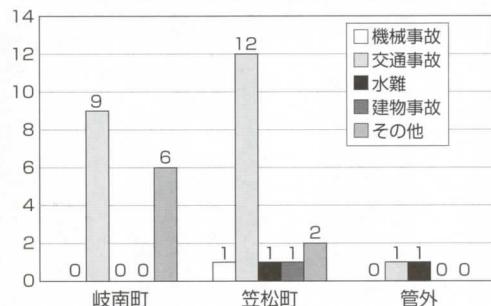
救助出場件数は、三十四件で前年と比べ十一件の増加となりました。また、出動種別としては、交通事故によるものが多く見られました。

平成三十年 火災・救急・救助の概要

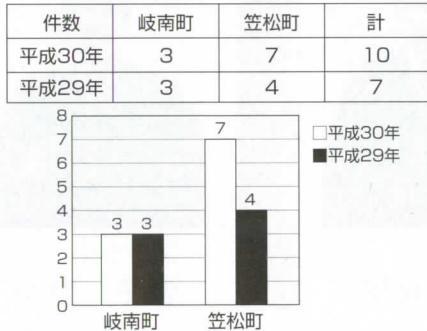
■出火原因



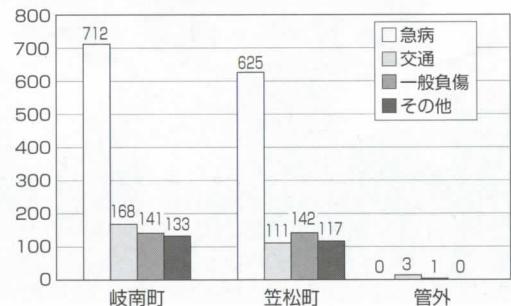
■平成30年中の町別救助件数



■町別火災件数



■平成30年中の町別救急件数



春季全国火災予防運動 (平成三十一年三月二日～七日)

今年も春季全国火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生やすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させることとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

今年の重点目標は、次の七つです。

(1) 住宅防火対策の推進(住宅用火災警報器の設置、維持管理の徹底等)

(2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進

(3) 放火火災防止対策の推進

(4) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

(5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

(6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

(7) 林野火災予防対策の推進



三つの習慣・四つの対策

〔三つの習慣〕

〔四つの対策〕

○逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

○寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。

○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

○寝たばこは、絶対やめる。

○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

「忘れない?
サインにスマホに
火の確認」

平成三十一年度 全国統一防火標語
○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力をつくる。

消防職員意見発表会



平成三十一年一月二十二日、岐南町総合健康福祉センターやすらぎ苑で、消防職員意見発表会が行われました。

この意見発表会は消防職員の資質の向上を図るため、毎年行われているもので、西消防署・東消防署から選出された職員十人が、「消防・防災に関すること」をテーマに意見を発表しました。

この発表会には、羽島郡二町教育委員会教育長、岐阜県消防学校教頭、当連合会計管理者の三人が厳正に審査し、次の職員が選ばれ、最優秀賞の二人が二月十四日の岐阜地区大会に出場しました。



消防士長
森 安雄



努力賞



消防副士長
酒井 聖幸



優秀賞



消防副士長
坂本 雅人



消防副士長
小池 友哉



最優秀賞

みなさんは消防士の服装はどう存知でしょうか。

私たちも、火災現場・救助現

場・救急現場のさまざまな現場に出動しますが、それぞれの災害に応じた服を身にまとい活動します。

また、出動時以外にも普段の業務や外へ出向する時など、場面に応じて違う服を着用しています。

そこで、今回の消防雑学は消防士の服装について紹介します。



消防雑学～消防士の服装を知ろう～

○制服

夏服と冬服があります。主に本部で勤務する日勤者や各種式典で着用します。

また、立入検査や防火診断などの外部へ出向する時にも着用することがあります。

消防署へ出勤する時にも着用することがあります。

消防署では、救急救助士の資格をもつた消防士が着用する服です。

羽島郡消防では、救急救助士の資格をもつた消防士が着用する服です。

消防署で勤務する消防士の中でも一番着いている人が多い服です。

消防署で勤務する消防士が着用している服です。

消防署で勤務する消防士が着用している服です。

消防士が着用する服です。

思い浮かぶのがこの服だと思います。

火災現場や救助現場へ出勤する時に着用する服です。

岐南町総合健康福祉センターやすらぎ苑で、消防職員意見発表会が行われました。

この意見発表会は消防職員の資質の向上を図るため、毎年行

われているもので、西消防署・東消防署から選出された職員十人が、「消防・防災に関すること」をテーマに意見を発表しました。

この発表会には、羽島郡二町教育委員会教育長、岐阜県消防学校教頭、当連合会計管理者の三人が厳正に審査し、次の職員が選ばれ、最優秀賞の二人が二月十四日の岐阜地区大会に出場しました。

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉

消防士長 森 安雄 消防副士長 酒井 聖幸 消防副士長 坂本 雅人 消防副士長 小池 友哉



住宅用火災警報器を設置しましょう！